

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公開番号】特開2003-325851(P2003-325851A)

【公開日】平成15年11月18日(2003.11.18)

【出願番号】特願2003-62396(P2003-62396)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月27日(2006.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示部に設定される変動表示領域において、複数の識別情報を変動表示可能な可変表示装置と、

前記可変表示装置を制御する表示制御手段とを備え、

前記識別情報が特定の態様で停止表示された場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる遊技機であって、

前記表示部に、前記変動表示領域とは別の演出表示領域を設定するとともに、

所定条件が成立した場合には、前記変動表示領域を、その範囲をほぼ維持したまま、前記演出表示領域の方向へ移動させるとともに、該移動に伴って前記演出表示領域をなくし、新たな演出表示領域を別の位置に設定することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記所定条件とは別の復帰条件が成立した場合には、前記変動表示領域を元の位置に復帰させることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記所定条件及び前記復帰条件が、共に識別情報の1回の変動表示中に成立することを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記所定条件及び前記復帰条件が、それぞれ識別情報の複数回の変動表示に跨って成立することを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項5】

複数のレイヤにより構成される表示画像を表示可能な表示部を有し、当該表示部において複数の図柄画像を変動表示可能な可変表示装置を備え、

前記図柄画像が特定の態様で停止表示された場合に、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる遊技機であって、

前記可変表示装置は、前記複数のレイヤを設定するレイヤ設定手段と、

前記複数のレイヤに対応した画面構成情報を生成する画面構成情報生成手段と、

前記各レイヤとして表示する表示範囲を各レイヤ毎に前記画面構成情報に設定する範囲設定手段と、

前記複数の図柄画像を構成する各種画像データを記憶する画像データ記憶手段と、

前記各レイヤの表示範囲に対応した前記画面構成情報及び前記画像データに基づいて表

示画像を生成する画像生成手段と、

前記図柄画像が変動表示される変動表示領域が前記表示画像の所定位置に設定されるよう、前記画面構成情報において前記図柄画像を含むレイヤの表示範囲の設定位置を画定する設定位置画定手段と、

所定条件が成立した場合において、前記表示画像における前記変動表示領域の設定位置がその領域範囲をほぼ維持したまま変位するよう、前記図柄画像を含むレイヤの表示範囲の設定位置を変位させる設定位置変位手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 6】

少なくとも前記所定条件が成立する前段階における前記表示画像において、前記変動表示領域の設定位置と非重畳又は略非重畳する位置に第1の特定表示対象が表示される第1の演出表示領域が設定されるよう、前記設定位置画定手段は前記第1の特定表示対象を含むレイヤの表示範囲を画定し、

前記所定条件が成立した後段階における前記表示画像において、前記変動表示領域の設定位置と非重畳又は略非重畳する位置に第2の特定表示対象が表示される第2の演出表示領域が設定されるよう、前記設定位置画定手段は前記第2の特定表示対象を含むレイヤの表示範囲を画定し、

前記設定位置変位手段は、前記図柄画像を含むレイヤの表示範囲の設定位置の変位に合わせて、当該変位の変位量と同等の変位量で前記各特定表示対象を含むレイヤの表示範囲の設定位置を変位することを特徴とする請求項5に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記図柄画像の変動パターン情報を複数種記憶する変動パターン情報記憶手段と、特定契機条件の成立に基づき、前記複数種の変動パターン情報の中から所定の変動パターン情報を選出する変動パターン情報選出手段と、

前記変動パターン選出手段によって選出された変動パターン情報が特定の変動パターン情報である場合に、前記所定条件が成立することとしたことを特徴とする請求項5又は6に記載の遊技機。